

感性与生活情報システム

(2年 前期 2単位)

佐藤 健

授業のテーマ・目標

情報システムの周辺には、情報サービスを利用した様々な生活環境が存在しています。これらはコンピュータシステムをベースとした生活基盤サービスを提供しています。近年のコンピュータとネットワークの発展とともに生まれた産業、サービス、仕組みであり、現在も新たな形を作りながら変化と進化を続けています。そのため、一般に情報システムと言っても、産業や生活における理解は人によりさまざまです。授業では、情報システムの進展(設計、管理、運用)とそれを支えてきた産業・技術の構造、および、その変化の過程を学習し、生活環境におけるユーザビリティの高い情報システムへの包括的かつ体系的な理解を深める。そして、これからの情報技術、社会の要求の動向から、情報システムを取り巻く生活環境はどのように変化するかについて考えます。本講義は、高度情報化社会で人々の生活をより豊かにし、個性的な創造活動を展開するために必要な生活環境と情報システムの調和の学習を行います。情報システムの発展によって、モノに代わって情報がリードする時代となりました。「人にやさしい情報社会」を実現するために、人間とコンピュータのやさしい関係の創造と情報システムの設計、管理、運用について実践的に学んでいきます。レポート等の課題は、授業専用のサーバー環境を用い提出する方法をとります。ICTを実践的に体験し、情報システム全般について理解を深めることを目的としています。

授業の内容

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：情報システムの進化と歴史(情報とシステム、進化と歴史、情報システムの仕組み)
- 第3回：情報化社会(社会基盤・生活基盤・行政としての情報システムの体験)
- 第4回：情報システムの設計(HV、産業界の情報システムの活用)
- 第5回：企業と情報システムの運用、管理(会社の業務とは、企業内の情報システムの活用、HV)
- 第6回：生活環境と情報システム運用、管理(日常生活の情報システムの活用、高齢化と情報システム)
- 第7回：教育環境と情報システム運用、管理(学校における情報システム、e-learningとICT)
- 第8回：IT産業とは(IT産業の構成を調べてまとめる)
- 第9回：ハードウェア産業と情報通信産業の概要(情報通信産業の現況と管理、運用について)
- 第10回：情報システムのライフサイクル(情報システムの設計プロセス、利用者の管理と運用)
- 第11回：情報システムのユーザビリティ(ヒューマンWebインタラクションの体験)
- 第12回：標準化動向と情報システムに係わる関連法規(標準化動向、知的財産とフリーソフト、情報漏洩への対応)
- 第13回：ネットワーク時代の情報システム(インターネットの活用と情報格差、利用者のマナー)
- 第14回：情報サービス産業の人材(求められている人材、国家資格と民間資格)
- 第15回：まとめ

準備学習

教室で指示された内容・課題等について確認作業等を行うこと

テキスト・教材

適宜プリントを配布する。

成績評価の方法・基準

出席時の小テスト：30%、レポート：30%、期末テスト：40%

参考書

使用しない

注意事項

学外(自宅等)でもインターネットの利用ができる環境を持つことが望ましい。